

認知症予防シンポジウム

基調講演

「認知症の人と家族の思いに寄り添う支援」



講師
松本一生先生

老人クラブ上御影若菜会主催の認知症予防研修会第3回目として、認知症予防シンポジウムが認知症予防ネット神戸との共催により開催されました。

松本診療所(もの忘れクリニック)院長
元大阪人間科学大学・社会福祉学科教授

老人クラブ上御影若菜会 会長 岡部 政人

2月16日(土) コープこうべ生活文化センターにて「認知症予防シンポジウム」が開催されました。まず 1部では 尺八「竹奏会」、琴「美和の会」の20名による日本伝統の和楽大合奏が参加者360名余りの心を和ませました。



2部の基調講演は、講師の松本一生先生が自ら介護家族でもあった経験から、患者や家族の身になっての物静だが、そのものズバリのお話で、更に「認知症を外在視するだけでなく、認知症・高齢化が私ごとになってきて、認知症を支える相手ではなく、共に生きる相手なのだと考え直している。私自身が、そしてあなたが認知症になる可能性だってあたりまえになってきたのですから」と質問者にも納得のいく説明をして下さった。

そして介護家族のシンポジスト丸本恭子さんの自己も病の中にあり乍ら、12年に渡り義母を介護し看取り、さらに夫(認知症患者)への献身的介護、その夫婦愛は、多くの方々に大きな感銘を与えた事でしょう。

こうして3時間30分の予防シンポジウムは、殆どの方が最後まで参加して下さい、多くの方に感謝の言葉を頂いたことは、誠に感謝の極みであります。

最後に伊藤理事長はじめ、共催、協力下さった皆様に心からお礼を申し上げます。



シンポジスト 介護家族 丸本 恭子

2月16日(土) 認知症予防シンポジウム「認知症の人と家族の思いに寄り添う支援」が開催されました。会場には寒い中たくさんのご参加があり、改めて認知症に対する関心の高さがうかがえました。

松本一生先生の基調講演、岡部会長 伊賀副施設長の支援者としての立場からの話がありました。私も介護家族の立場から、大勢の前でドキドキしながら話をさせていただきました。

思いは上手く伝わったでしょうか? みなさんはどのように感じられましたか? 少し不安ですが、お聞きもしてみたいと思っています。

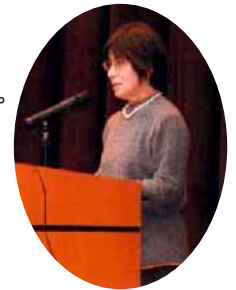
今回のシンポジウムを通じて、改めて地域との結び付きの必要性を痛感しました。ではどうすればいいのか、答えが出るのはまだまだこれからです。

今 やっと地域で同じ悩みを持つ仲間と出会い、集う場所が出来たばかりです。お互いに自分自身の介護の悩み、困っている事、大切な事などを話し合っています。

また、どのように発信すれば地域の人々に伝えられるか? 地域の一員として私達にも出来る事はないのだろうか等これからの課題もあります。

地域の皆様、専門職の皆様、そして、私達介護家族みんなと一緒に考える事で答えが出てくるのでは…と思います。

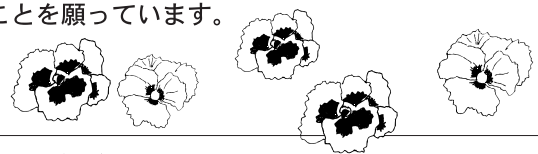
最後になりましたが、共に集える介護家族の仲間がもっと増えることを願っています。



アロマコーディネーター 松井 左知子

お洗濯の仕上げにアロマの香りをプラスしましょう
部屋干し時の雑菌の繁殖も抑えます。

香りは家族の好みに合わせて選びます。ラベンダー、レモン、パルマローザ、ペパーミント、ローズマリーなど抗菌効果が期待できる精油を、洗濯機の最後のすすぎに3滴程度落とすだけでOKです。



編集後記 ●●●●●●●●

春号は認定NPO法人取得記念号となりました。昨年6月に認定申請をしてから7ヶ月、ほっとしているというより、これから「市民の手による公益の担い手」としての役割を果たすべく、ますます社会から特段の期待がよせられていることを考えると緊張が高まってきます。認定NPO法人としての責務を果たすべく、皆さまのご援助をよろしくお願い致します。

